

# 合格体験記

氏名 O.C

## 【合格した自治体（校種・教科）】

神奈川県(小学校)・愛知県(小学校)・堺市(小学校)

### ① いつから勉強したか？また、どんな勉強から始めたか？

3月の春期集中講座で焦りを感じ、勉強を始めました。教職教養は教育原理と教育法規だけセサミノートでまとめて、一般教養は苦手な数学と理科を、たくさん解くことから始めました。

### ②あなたのオススメの教材とは！？

東京アカデミーの参考書すべて、時事通信社の過去問(教職教養・一般教養)、セサミノート(教職教養・小学校全科)

### ③とっておきの勉強法

全国過去問を、毎日2県ずつ過去問を解いて、間違えたところは参考書を読みながら、自分なりにノートにまとめる。次の日はそれを見直してから、次の2県に取り組む。そうすることで、教職教養はねらわれやすいところが分かり、一般教養は自分の苦手が分かりました。

### ④1日に何時間勉強していたか？

その日の気分でしたが、0～6時間ぐらいです。

### ⑤息抜きの方法は？くじけそうになったときは？

おいしいものを食べる、思いっきり遊ぶ、みんなとたくさん話す、ボーっとする

なによりも勉強した後に、ナビのみんなと食べる夜ごはんが、1番楽しい時間でした。毎日お腹が痛くなるほどみんなと笑っていたので、特別な息抜きは必要がないぐらい、毎日楽しかったです。

### ⑥どの自治体を受けたか？

神奈川県(小学校)・愛知県(小学校)・堺市(小学校)

### ⑦⑥を踏まえて、それぞれの自治体の面接や筆記(専門含む)などをどのように対策していたか？

面接や集団討論は、ナビの練習に参加したり、見学したりして対策しました。

模擬授業は、準備をしていける神奈川と、当日範囲を言われる堺の2種類がありました。神奈川はナビのみんなと集まり、模造紙作りを手伝ってもらったり、授業を見てもらったりして練習しました。堺は先生に対策をして頂きながら、自分で1～6年の教科書に一通り目を通し、難しそうな範囲の導入を考えました。

筆記試験は、分からないことは教えてもらい、分かることは教える、これが大切だと思います。ナビのみんなの説明は、参考書よりも分かりやすく、頭に残りやすいです。

### ⑧ゼミ(授業)や就活と教員採用試験の兼ね合いは？

私のゼミは半分以上が教員採用試験を受けるので、ゼミで集団討論の練習をしたりしていました。3回生

の間に単位をほとんど取っておいて、本当に良かったと思います。

### ⑨バイトやボランティアはどうしていたか？

バイトは、塾講師を週1回続けていました。スクールボランティアは、2回生から行っていましたが、4回生の4月からはお休みさせてもらいました。キャンプボランティアはリフレッシュを兼ねて、月2回程度参加し、山に登ったり、川で泳いだりしていました。

### ⑩大学生活中にやっておいた方がいいこと！

たくさん笑うこと。先生の笑顔は、子どもたちに勇気も安心感も与えられると思います。私自身、個人面接で答えられない質問もありましたが、笑顔を忘れなかったことで、面接官にも「笑顔がとてもいいね。」とほめていただきました。だから楽しいと思える経験をたくさんして、たくさん笑いましょう。

### ⑪ナビの良かった点は？

ナビの良いところを挙げるとキリがありません。ただ、ナビに入っていなかったら、今の私はありません。それぐらい私にとって大きな存在でした。

### ⑫あなたはどんな先生でありたいか？

「太陽のような先生」

子どもを笑顔にできる明るさ、子どもに寄り添える温かさ、子どもと真剣に向き合える熱さ、これらをもつと忘れない先生でありたいです。

### ⑬これから教員採用試験を受ける先生の卵たちへ！

子どものことを好きなだけではダメだけど  
子どものことを好きでなければ 先生にはなれない

『先生』作詞・作曲 柚梨太郎

これを聞いてください。知っている方も多いと思いますが、私はしんどい時、いつもこの曲を聴いて「先生になりたい！」という熱い気持ちを再確認していました。

あとは、自分を支えてくれる仲間を大切に、感謝の気持ちを忘れず、がんばってください。

信じた道を進むのは辛いことでも

仲間と夢を信じなければ 先生にはなれない